

芸術銀河・動画配信スタートアップ支援事業
令和2年度事業報告

1 採択者一覧

	申請者名・ 申請団体名	ジャンル	事業名	交付決定額 (円)
1	矢口 龍太	演劇	演劇『咆哮〈私たちはもう泣かない〉』チャリティ生配信公演	154,000
2	劇団鳥や	演劇	劇団鳥やリーディングシアター 「あのときの王子くん」	250,000
3	DANCEX 実行委員会	ダンス	DANCEX2020 オンライン	250,000
4	株式会社トリプルイー	大道芸	「宮城を発信・パフォーマンスライブ」	250,000
5	鈴木 真衣	音楽	いま遠くだからできること第三弾 ～星の夜～	250,000

2 補助対象事業の概要

(1) 演劇『咆哮 く私たちはもう泣かない』チャリティ生配信公演

① 概要

イ 開催日, 開催場所

令和3年2月6日～7日 せんだい演劇工房10-BOX

ロ 配信日

令和3年2月6日～7日

ハ 配信方法等

- ・有観客開催+ライブ配信
- ・委託業者: 配信代行サービス Golden Good Stream (撮影, 配信)
- ・配信サイト: vimeo

ニ 内容

仙台舞台芸術フォーラム 2011→2021 の上演作品『咆哮 く私たちはもう泣かない』の約120分のライブ配信を行ったもの。ライブ配信では、公演後のアフタートークを実施し、配信した。

② 収支決算

収入

内容	金額	備考
本事業補助金	154,000	
入場チケット収入	80,000	1,000円×80枚
配信チケット収入	67,000	1,000円×67枚
その他	240,000	主催者から提供された事業費
合計	541,000	

支出

内容	金額	備考
役務費	2,351	vimeo 決裁手数料
委託料	154,000	配信代行サービス Golden Good Stream
小計	156,351	
報償費	210,000	30,000円×7人
旅費	15,000	交通費
需用費	70,000	舞台制作費, 小道具等
使用料	25,000	会場・稽古場使用料
小計	320,000	
合計	476,351	

③ 今後の課題点等

- ・配信視聴者からは、カメラ3台による臨場感ある演劇を楽しむことができたとの感想があった。
- ・ライブ配信では公演後のアフタートークもあり、付加価値を設けたことでオンラインチケットの販売促進につながった。

- 有観客開催＋ライブ配信により一定の収入が確保できたものの、配信委託料と配信チケット収入が見合わない状況となったほか、ライブ配信のため委託業者との念入りな調整が必要であった。
- SNS を活用した積極的な広報や投げ銭システムを活用して、収入確保に努める必要がある。

(2) 劇団鳥やリーディングシアター「あのときの王子くん」

① 概要

イ 開催日, 開催場所

令和3年2月28日 せんだいメディアテークスタジオシアター

ロ 配信期間

令和3年3月15日～31日(17日間)

ハ 配信方法等

- ・有観客開催+録画配信
- ・委託業者: 劇団ヤミ鍋(撮影, 編集)
- ・配信サイト: vimeo

ニ 内容

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため, 演者同士の対面を避けることができるリーディング公演を開催し, 後日, 動画配信を行ったもの。

② 収支決算

収入

内容	金額	備考
本事業補助金	250,000	
入場チケット収入	92,500	一般2,000円×40枚, 大学生1,000円×7枚, 高校生以下500×11枚
配信チケット収入	12,000	1,000円×12枚
自己資金	13,710	
その他	219,200	文化庁: 文化芸術活動継続支援事業 仙台市市民文化事業団: 実演会場の公演会場費助成事業
合計	587,410	

支出

内容	金額	備考
委託料	150,000	劇団ヤミ鍋(撮影・編集)
小計	150,000	
報償費	240,000	演者40,000円×1人, 30,000円×2人, 20,000円×4人 スタッフ30,000円×2人
需用費	30,846	パンフレット印刷費3,400円, 衣装代等27,446円
役務費	17,577	送料
委託料	76,287	チラシ制作等一式
使用料	72,700	会場使用料
小計	437,410	
合計	587,410	

③ 課題点等

- ・収支相殺ではあるが補助金を活用し、自己資金額を抑えた。
- ・2週間程度配信していたことにより何度も視聴される方もいたほか、4台のカメラを使用し視点を切り替えることで視聴者が飽きずに視聴できるよう工夫を行った。
- ・オンラインチケットの購入が伸び悩んだため、SNSを活用した広報を積極的に行うほか、カフェやシアター等を利用したライブビューイング会場を設けることで収益確保に努める必要があった。

(3) DANCEX2020 オンライン

① 概要

イ 開催日、開催場所

令和3年1月30日、名取市増田公民館

ロ 配信期間

令和3年2月21日～23日（3日間）

ハ 配信方法等

- ・無観客開催+ライブ配信，アーカイブ配信
- ・委託業者：株式会社青葉（撮影），株式会社ネオナード（編集，配信）
- ・配信サイト：ZAIKO 配信

ニ 内容

オリンピック選考会東北地区代表の本郷杏奈氏（仙台市出身）等の全63組のダンスチームによるダンスを事前収録し，MCによるトークを交えながらライブ配信を行ったもの。

② 収支決算

収入

内容	金額	備考
本事業補助金	250,000	
入場チケット収入	0	無観客開催
配信チケット収入	300,000	2,500円×120枚
その他	6,500	投げ銭収入
自己資金	117,426	
合計	673,926	

支出

内容	金額	備考
役員費	49,170	HP使用料8,140円，ZAIKO販売手数料41,030円
委託料	280,000	株式会社青葉60,000円，株式会社ネオナード220,000円
小計	329,170	
報償費	260,000	ゲストダンサー：90,000円×1人，70,000円×1人，20,000円×2人 MC：20,000円×2人
需用費	57,216	舞台制作費，小道具等
役員費	21,940	チラシ制作費54.85円×400枚
使用料	5,600	会場使用料
小計	344,756	
合計	673,926	

③ 課題点等

- ・5時間の配信であったが，多数の団体によるパフォーマンスや映像編集にこだわることで視聴者が飽きずに見ることができる工夫を行った。

- ZAIKO 配信の投げ銭システムを活用することで、チケット収入以外の収入確保に努めた。
- 一方、配信チケット収入だけでは収支がマイナスとなるため有観客での実施や、より多くの視聴者を確保するため広報について見直す必要がある。

(4)「宮城を発信・パフォーマンスライブ」

① 概要

イ 開催日，開催場所

令和3年2月20日・21日，仙台国際センター・松島離宮

ロ 配信期間

令和3年3月5日～31日（27日間）

ハ 配信方法等

- ・有観客開催＋録画配信
- ・委託業者：マジックサロン・ルーモス（撮影，編集，配信）
- ・配信サイト：vimeo

ニ 内容

総勢12人によるマジックやジャグリング等のライブパフォーマンスの動画配信を行ったものの。

② 収支決算

収入

内容	金額	備考
本事業補助金	250,000	
入場チケット収入	60,500	500×121枚
配信チケット収入	7,500	500円×15枚
その他	18,440	文化庁「文化芸術活動の継続支援事業」
自己資金	35,117	
合計	371,557	

支出

内容	金額	備考
委託料	30,000	マジックサロン・ルーモス委託
使用料	26,400	vimeo 使用料
賃借料	20,000	撮影機材レンタル料
小計	76,400	
報償費	220,000	出演者10,000円×20人，スタッフ20,000円×1人
需用費	30,419	舞台道具等
役務費	8,338	チラシ印刷代4,928円，振込手数料3,410円
委託料	10,000	チラシデザイン費
使用料	26,400	vimeo 使用料
小計	295,157	
合計	371,557	

③ 課題点等

- ・カメラ2台を使用したことにより，パフォーマーの手元まで見せる工夫等を行っており，動画配

信でも楽しむことができる工夫を行った。

- 配信チケットの売れ行きが不調であり，SNS やニーズに合わせた広報を実施する必要がある。
- またチケット収入のほかに投げ銭システムの活用等新たな収入確保に努める必要もある。

(5) いま、遠くだからできること第三弾～星の夜～

① 概要

イ 開催日、開催場所

令和3年3月19日、人形劇場徹子のお家

ロ 配信期間

令和3年3月19日～31日（13日間）

ハ 配信方法等

- ・無観客開催+ライブ配信、アーカイブ配信
- ・委託業者：Motoki Ohkubo Studio（撮影）、プラスクロス（動画編集、ホームページ制作費）
- ・配信サイト：Peatix Live（ライブ配信）、vimeo（アーカイブ配信）

ニ 内容

鈴木真衣（ソプラノ歌手）と堀内由起子（ピアノ）によるフランス歌曲の演奏を行ったもの。

② 収支決算

収入

内容	金額	備考
本事業補助金	250,000	
入場チケット収入	0	無観客開催
配信チケット収入	94,500	1,500円×63枚
その他	23,000	CD、DVD売り上げ収入
合計	367,500	

支出

内容	金額	備考
委託料	136,400	映像撮影 50,000円、動画編集等 30,000円、ホームページ制作費 30,000円 vimeo 配信料 26,400円
小計	136,400	
報償費	100,000	50,000円×2人
委託料	45,074	グランドピアノ調律費 22,000円、チラシデザイン費 23,074円
需用費	9,563	CD・DVD制作費 6,401円、物品購入 3,162円
役務費	46,463	CD・DVD送料 24,050円、チラシ印刷費 10,208円、チケット販売手数料 12,205円
使用料	30,000	会場使用料
小計	231,100	
合計	367,500	

③ 課題点等

- ・無観客開催であったが、SNSを活用した広報を積極的に行うことで配信チケットの販売増加につながったほか、CD等の販売も行うことで収入の確保につながった。
- ・視聴者が最後まで楽しむことができるよう2～3分の曲を中心にしたほか、朗読を行うことでフ

ランス音楽を楽しめるような工夫を行った。

- 無観客開催で実績を出すことができたため、今回の取組を継続しつつ有観客での実施に挑戦していく。

3 事業実施結果

本事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、無観客又は収容率50%以内の制約を受けながら活動している県内の舞台芸術の継続的な活動を支援するため、動画配信との両立を図ることで収益を確保するモデルケースとなる事業を募集したものである。

(1) 収益について

今回、複数の文化芸術ジャンルから5事業を採択し検証を行ったところ、ほとんどの事業で配信チケット収入だけでは配信に係る経費を負担することができなかった。また、撮影委託費等のオンライン配信に係る経費が平均約17万円必要となっており、その経費が事業費の半分を占める事業もあり収支が見合わないケースもあった。一方、一部事業では投げ銭システムの活用やDVD等の販売により収入を確保したケースがあったことから、配信チケットの販売促進のためSNSを活用する等、実公演と同等の広報が必要であるとともに、投げ銭システム等を積極的に活用していく必要があると考えられる。

(2) 撮影・配信等について

動画撮影等に関しては、演劇やダンス等の分野は、視聴者に臨場感を感じてもらうため複数台のカメラを使用する必要があるほか、動画の白飛び等も考慮した撮影などの工夫が必要であると考えられる。一方、音楽分野については、視聴者が画面を見ずに視聴したという感想もあり必要以上数のカメラ等の使用は必要ないと考えられる。また、動画作品については視聴者が飽きずに視聴することができるような工夫が分野毎に必要であり、例えば、音楽では短い曲を中心に演奏し、曲数を多くすることや、大道芸ではパフォーマーの手元がしっかり見える映像や会場全体の盛り上がりを感じられる映像等の視点の切り替えが重要であると考えられる。

動画視聴者の感想

- ・実際に会場で見た後、家で違った視点で見ることができて良かった
- ・アーカイブ配信だったことで、自分の予定に合わせて視聴することができた
- ・複数回視聴することができて良かった
- ・カメラワーク等により臨場感を感じることができた

実施団体の感想

- ・コロナ禍での開催及びオンライン配信の実施により、県内外のイベント業者やパフォーマーから反響があった
- ・SNSを活用した広報に力を入れたことで、オンライン配信チケットの販売増加に繋がった
- ・オンライン配信を実施したことで、新たな視聴者を獲得することができた
- ・配信業者又は配信サービス業者との連携や準備が大変だった
- ・配信委託料と配信チケット収入が見合わない結果となった

今後の展望

- ・オンライン配信をする際の適した動画時間やカメラワークなどを研究していく
- ・収支がマイナスにならないよう、投げ銭システム等を活用していく
- ・オンラインでの視聴に慣れていない層が視聴できるような工夫が必要